

ワールドフレンズ天草

令和7年度 通常総会

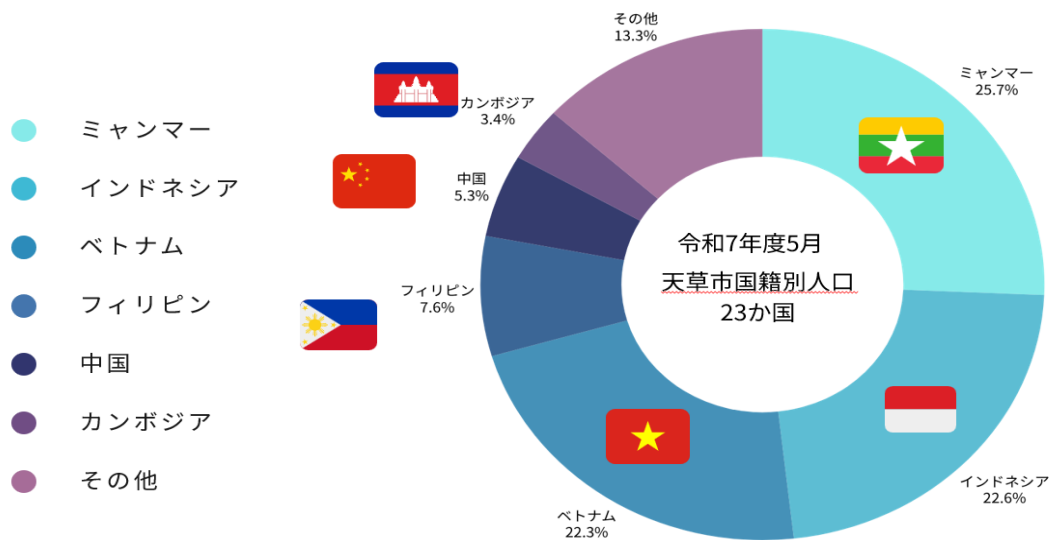
令和7年6月2日

ワールドフレンズ天草

令和7年度 通常総会 目次

1. 目次
2. 天草の在住外国人の現状
2. 令和6年度事業報告
3. 令和6年度収支決算報告及び監査報告
4. 令和7年度事業計画
5. 令和7年度収支予算書
6. 理事名簿

天草の外国人の地域別人数と国籍の割合



令和6年度 事業報告

【自主事業①】外国人支援(CSR社会貢献活動として無償対応)

【自主事業②】異文化紹介(CSR社会貢献活動として無償対応)

		場所	概要
1	北小異文化交流クラブ	本渡北小学校	本年度4回、在住外国人や地域住民と協力し、北小学校4～6年生のクラブ児童に向けて世界の文化や習慣を紹介。
2	つんのでフェスタ	天草市	人権をテーマとした市のイベントの実行委員として携わる。 アメリカ人2名とミャンマー人1名が日本での生活について日本語でスピーチをした。 パネル展示では当団体の活動を紹介。

【自主事業③】識者専門家会議、研修(CSR社会貢献活動として無償対応)

		場所	概要
1	外国ルーツの子どもたち 支援ネットくまもと研修会など	zoom	熊本県内の支援についての報告と情報共有。指導についての研修など。
2	「NPO法人つなぐ」 動機付け面接勉強会	天草市	対人援助職に有益な「動機付け面接」の精神と実際に使えるスキルを学ぶ勉強会。

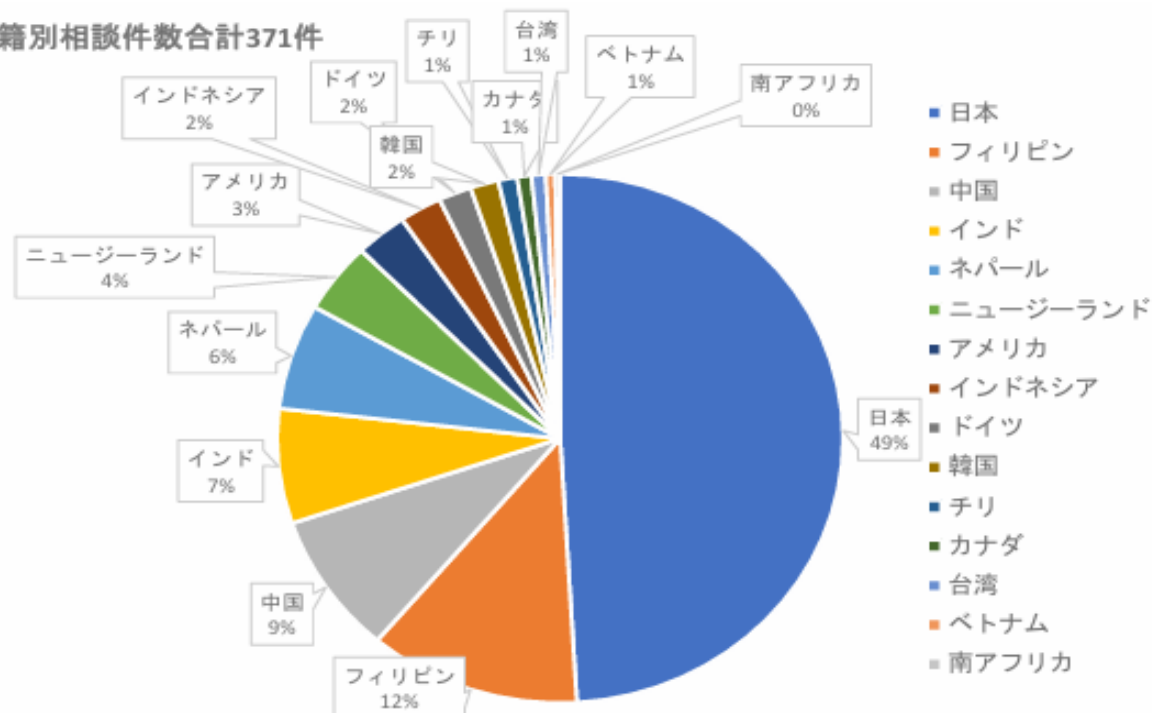
【自主事業④】講師、パネリスト、メディア、視察受け入れ 多数

【受託事業①】天草市多文化共生支援事業（天草市総合政策部政策企画課）

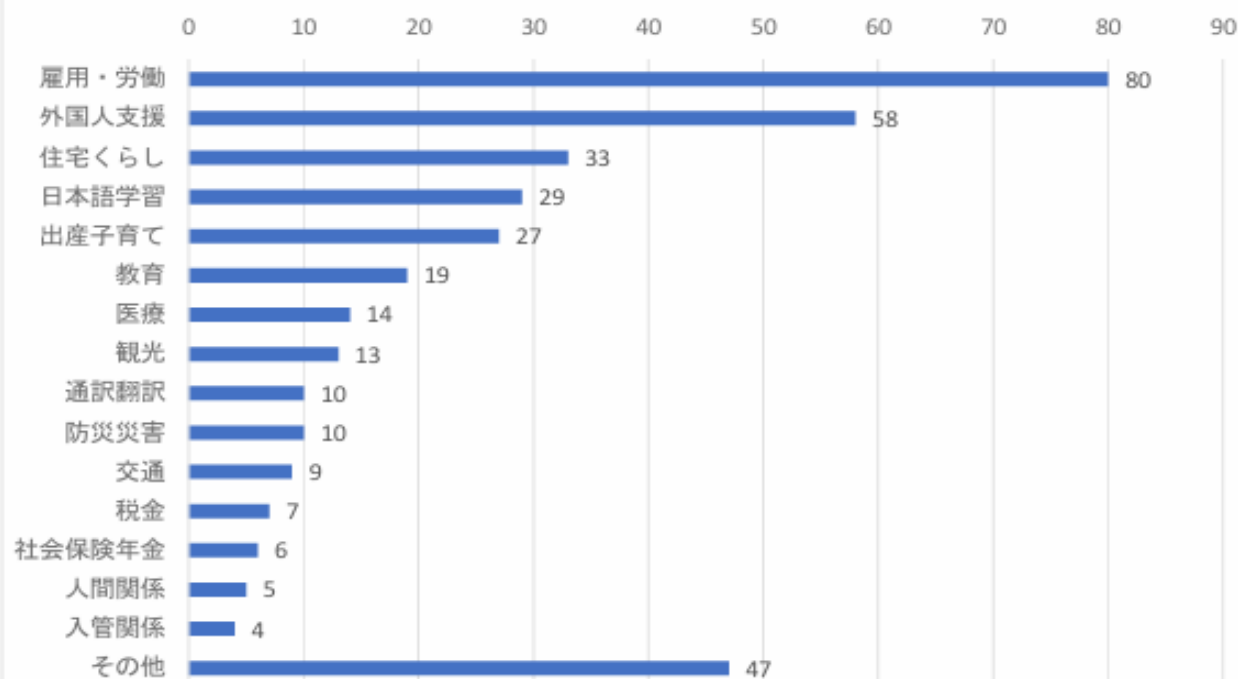
外国人総合相談窓口の実績報告及び相談・利用件数集計表

実施日	開設日数	受付方法別件数					来庁 人数
		来庁	電話	メール	その他※	合計	
4月	8	12	6	4	0	22	8
4月時間外		3	4	0	0	7	2
5月	8	10	4	3	0	17	3
5月時間外		1	4	3	4	12	1
6月	8	6	2	2	0	10	4
6月時間外		0	8	0	0	8	1
7月	8	8	5	9	0	22	5
7月時間外		0	11	1	0	12	0
8月	8	8	9	7	0	24	8
8月時間外		2	0	0	2	4	2
9月	7	9	4	8	0	21	5
9月時間外		2	5	0	7	14	2
10月	8	2	6	12	0	20	7
10月時間外		0	6	0	4	10	0
11月	7	5	3	7	1	16	7
11月時間外		12	14	0	3	29	4
12月	8	5	7	3	5	20	5
12月時間外		8	0	0	0	8	4
1月	8	4	8	5	0	17	6
1月時間外		0	4	0	6	10	0
2月	7	10	2	11	0	23	5
2月時間外		0	2	1	1	4	0
3月	8	18	5	10	0	33	5
3月時間外		4	3	0	1	8	2
合計	93	129	122	86	34	371	86

国籍別相談件数合計371件



窓口相談内容別件数（時間外も含む）合計371件



本年度は、電話やメールによる相談が中心で、時間外では電話相談の割合が高い。3月や11月など、節目の時期に相談件数が増加していた。

相談者は日本国籍が最多ですが、フィリピン、中国、インドネシア、ネパールなど外国籍の方からの相談も多く、多国籍なニーズへの対応が求められている。

内容別では、「雇用労働」「外国人支援」「住まい・くらし」に関する相談が多く、生活基盤への支援ニーズが高いことが分かり、また、「日本語学習」や「教育」など定住支援に関わる相談も多く、生活全体を支えるサポートが重要となっている。

【受託事業①】天草市多文化共生支援事業（天草市総合政策部政策企画課）

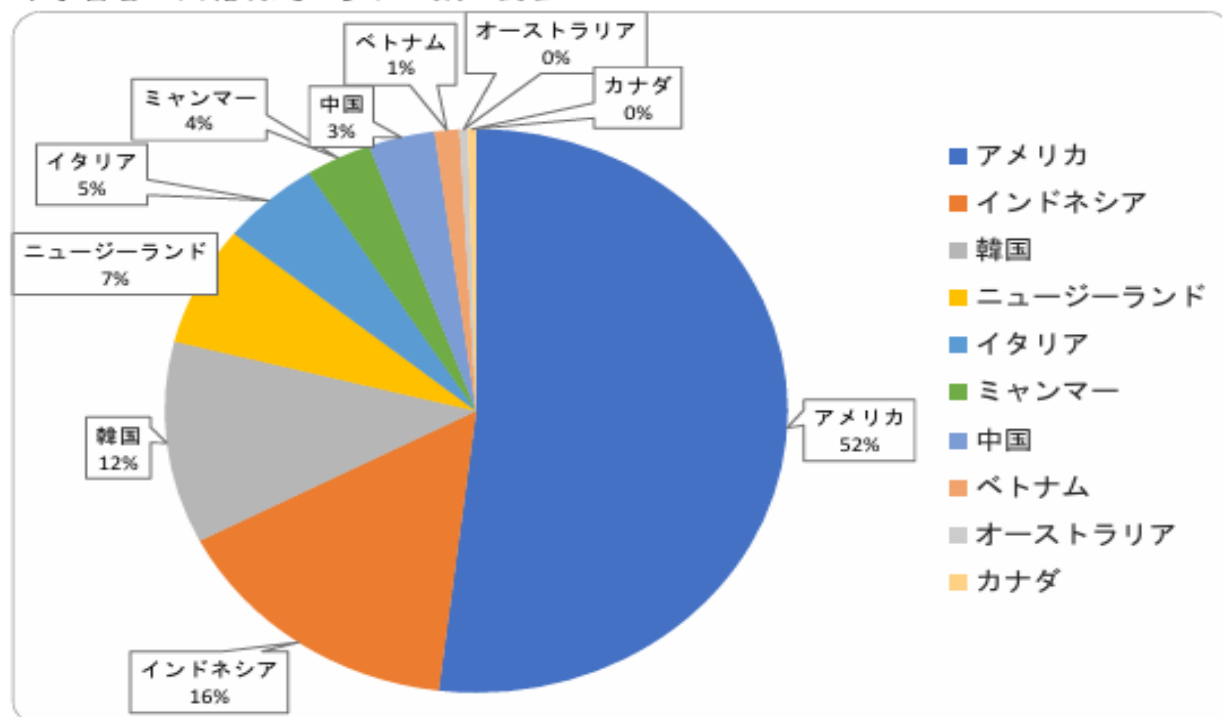
にほんご教室の実績報告及び参加人数集計表（参加のべ人数）

開催月	開催回数	参加者		スタッフ外 部講師	合計人数	備考
		学習者	ボランティア			
4月	0	0	0	0	0	
5月	4	26	15	7	48	
6月	0	0	0	0	0	
7月	4	20	23	8	51	
8月	1	6	3	2	11	
9月	4	38	18	8	64	
10月	0	0	0	0	0	
11月	4	37	17	8	62	
12月	1	6	4	1	11	
1月	4	48	15	8	71	
2月	1	13	5	3	21	
3月	3	39	17	8	64	
合計	26	233	117	53	403	
（昨年度実績）	26	265	223	65	553	

本年度参加人数 学習者(10カ国) 34名、日本人（講師、ボランティア、ゲスト講師）31名

ゲスト講師を呼んで行うイベント特別回の実施が昨年より少なかったため、昨年度に比べ日本人ボランティアの方に積極的に声掛けすることが少なく、結果年間のボランティアさんの参加が少なかった。

◆学習者の国籍別延べ参加人数の割合



【日本語教室】

日本語教室も年数をかさね、運営も安定しつつ、学習者は安定的に継続して参加があり、新規の広がりも見せている。海外の興味のある小中高生などもボランティアとして参加していただき、日本語学習の場としてだけでなく、地域との多世代の異文化交流の場ともなっている。

「新しい参加者で賑わっている」



さまざまな国と地域出身の方が参加。

ロコミや公式LINEなどから、天草へ引っ越してきたばかりの外国人の方も参加されている。

「ボランティアさんも活躍」



ボランティアさんには、グループワークの際に各グループに一人、多い時にはマンツーマンで学習者さんについてもらう時もある。

わからない単語について説明したり、一緒にロールプレイをするなど、楽しく日本語を学んでいる。

「みんなの前で発表」



授業の最後にはいつも提示したお題に対して、学習者のみなさんに自分の意見を発表してもらっている。ホワイトボードに書くことでライティングの練習、発表することでスピーキングの向上を目的にしている。

「日本の行事や文化も体験」



季節の行事も実際に体験。節分には鬼のお面を被り、豆まきをした。他にも日本の文化の一つである俳句について学んだ回もあり、学習者のみなさんに俳句を作ってもらい発表した。

「グループワークで異文化交流」



授業内ではグループワークをしてもらうことが多い。
振り分ける際に違う国の人たちでグループを作ることによってグループ内で日本語話してもらうことが目的。
さらに異文化交流の場にもなっている。
テーマが「ひな祭り」の日には、自分の国や地域の子供に関する祭りを紹介し合い、とても興味深い授業になった。

「身近な物を教材に」



左記の写真は天草の観光パンフレットを使って授業を行った時のもの。
身近にある物を使って授業を行うことによってより生活に必要な語彙を学ぶことができる。
必要な情報を読み取る力であったり、予約の電話の仕方など生活の助けになるよう身近な教材やシチュエーションで日本語を学んでいる。

「外部との連携」

1月に防災課と連携し、災害についての知識や考え、避難所や非常食の話をした。
その際、NHKの方に来ていただき、外国人の防災への意識を育むためにどのような授業を行っているのかを取材していただいた。
授業内では、実際にハザードマップを使って自身の家や職場から一番近い避難所を確認したり、非常食を食べてみた。
天草で暮らす外国人に欠かせない授業を、実践的に楽しく学ぶことができ、学習者の皆さんにとって良い機会になったと好評だった。



避難の際に何を持っていけばいいか話し合い発表する様子

【受託事業①】天草市多文化共生支援事業（天草市総合政策部政策企画課）

日本人向け「やさしい日本語専門講座」（同じ内容で2回実施）

と き 令和7年2月6日（木）、7日（金）10時00分～11時30分まで
ところ 天草広域連合消防本部
対 象 天草広域連合消防職員、一般市民
参加者数 6日（木）31名、7日（金）16名 計47名

〈経緯〉

毎年実施している「くらしの日本語教室」の消防特別回のなかで、日本語での通報訓練や三者通訳を介した通報の練習をしている。この中で、通報を受けたり駆けつけたりして対応する消防職員の方々にも、外国人に慣れてもらうことの重要性がわかった。昨年度、消防職員の方にも参加していただき緊急時の「やさしい日本語」に特化した専門的な内容の講座を開催し、とても好評だった。そこで、今年は災害時の「やさしい日本語」を実施する事とした。

〈内容〉

「ことばのバリアフリー 災害時に役立つやさしい日本語講座」というタイトルで、以下の内容をお話した。

- 1 団体の紹介
- 2 天草の外国人の状況
- 3 これまでの災害時の外国人の被災の状況
- 4 「やさしい日本語」とは
- 5 ロールプレイング

・大災害時や救急対応時の消防での初動の場面を想定してもらい、4～6人グループで「やさしい日本語」に変換し、発表してもらう。

〈所感〉

天草で暮らしている外国人の「災害や避難所について知っている知識や習慣、考え方など」は、日本人とは同じものでなく、対応する際に言葉だけに限らず配慮が必要であることを改めて認識していただけたようである。そして今回、「救急ボイストラ」という救急隊用音声翻訳アプリと同じような仕様で一般の人でもつかえる「ボイストラ」を使って講義を行ったのは初の試みであった。ボイストラを実際に使ってもらい、複雑な文はきちんと翻訳されるのか、天草弁では正しく翻訳されるのかなど、皆さん楽しくボイストラの使い方を学べたように伺えた。しかし、それらの複雑な文や方言などはうまく翻訳されず、ボイストラを使う際にも「やさしい日本語」を使うことで、翻訳の精度も上がるということも実感していただいた。

また、大災害時、緊急時に声掛けをする相手が外国人である場面を想定し「やさしい日本語」に変換し、発表してもらう場面では、どのグループも臨場感ある実演をしてくださり、とても印象に残る内容になったと思う。外国人側に日本の災害時時の対処方法を伝えるだけでなく、消防職員含め、日本人側にも外国人に寄り添ってやさしい日本語の対応を学んでいただくことの重要性を改めて感じる事ができた。災害時お互いに理解し合い対応できる多文化共生のステップアップになった。



たくさんの消防本部の職員が「災害時に役立つやさしい日本語講座」を受講



災害時の状況を想像し、グループで「やさしい日本語」での声の掛け方を考える



ロールプレイング

【受託事業①】天草市多文化共生支援事業（天草市総合政策部政策企画課）

牛深にほんご教室の実績報告及び参加人数集計表（参加のべ人数）

開催日	開催時間帯	参加者		スタッフ 外部講師	その他	合計人数	備考
		学習者	ボランティア				
7月19日（金）	18:30-20:00	34	6	4	4	48	行政職員4名
7月20日（土）	14:00-15:30	7	0	2	3	12	行政職員4名

本年度参加人数 学習者（6か国：ミャンマー、ベトナム、インドネシア、モンゴル、マレーシア、フィリピン）41名、日本人（講師、ボランティア）19名

【授業内容】ごみの分け方・捨て方

①自己紹介

名前、好きな食べ物、日本で行ってみたい場所など

※1日目はグループ内で、2日目はみんなの前で発表した。

②ごみの種類と分別方法を学習（市職員の方がPPTで説明）

燃えるごみ（燃やせるごみ）、燃えないごみ（燃やせないごみ）、資源物（資源ごみ）、集めないゴミ

③分別クイズ

1日目：市職員の方がPPTで出題し、学習者が挙手で回答する形式。

2日目：ごみ（サンプル）をグループに配布。相談しながら実際に分別してもらう形式。

③感想発表 ※2日目のみ

【第1回目の様子】



【第2回目の様子】



【所感】

昨年度に引き続き、2年度目の開催だった。参加人数の多さから牛深在住外国人の増加とそれに伴い牛深での日本語教室の開催の需要を強く感じる2日間だった。参加者も1名以外は実習生などアジア出身者で、本渡地区での日本語教室とは参加者国籍が大きく異なる状況だった。今回の参加者の中にはほんの3日前に天草に来て、すぐに申し込んで参加してくださった方もおり、どうやって知ったのか詳細は聞けなかったが、状況から職場の人に教えてもらったのではないかとと思われる。

回数を重ねる毎に信頼度が上がって会社からも外国人社員に声をかけてくれるようになったことは大きな成果であると思う。

皆さん和気あいあいと楽しそうに学ばれていたのが印象深かった。

【受託事業①】天草市多文化共生支援事業（天草市総合政策部政策企画課）

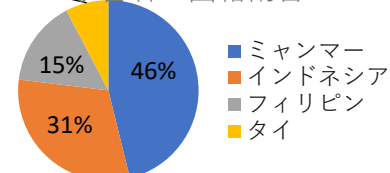
牛深サテライトにほんご教室の実績報告

開催月日	開催時間帯	参加者		スタッフ 外部講師	合計人数
		学習者	ボランティア		
2月23日 (日)	13:30-15:30	13	17	7	37

参加人数内訳

- ・学習者（4か国：ミャンマー、インドネシア、タイ、フィリピン）13名、
- ・講師、ボランティア（4か国：日本、ベトナム、インドネシア、ミャンマー）37名

8% 学習者の国籍割合



【日本語教室】現在天草市内では牛深地区が外国人の在住人数が最多である。地域のニーズに答えるため、今回は牛深で熊本市国際交流振興事業団と一緒に「（天草）さいがいからいのちをまもろうぞ」を行った。

1.「開会あいさつ」



2.講演（1）「地震や大雨などの災害について」

災害について学ぼう！

1. 地震・震度・津波
2. 台風大雨とは何ですか？
3. 避難所とは何ですか？
4. 地震・台風・大雨のとき、どこで情報を見ることが



3.講演（2）「避難所について（避難所模擬体験）」

避難所ってこんなところ！

1. 非常食
2. 非常用トイレ
3. 避難所のテント
4. 避難所での過ごし方
5. 防災バック
6. 避難方法



4.講演（3）「外国人コミュニティ・天草地域での外国人支援団体について」

県内の外国人コミュニティに

ついて知ろう！つながろう！

1. 在熊本ベトナム人協会
2. 熊本インドネシア学生会
3. ミャンマー語通訳
4. ワールドフレンズ天草



5.閉会

【所感】

避難所模擬体験では、自分で組み立てて作る仮設トイレでは水を流せない状況でも使える吸水素材を使うものや、避難所内の個人の過ごせるスペースを仕切ってある様子を見ることができ、より現実的に災害時のイメージがついたようだった。牛深の地域住民の方の参加も多く、また熊本地震を経験した外国住民の直接の話を聞くこともでき、よい機会になったと思う。

【受託事業①】天草市多文化共生支援事業（天草市総合政策部政策企画課）

牛深サテライトにほんご教室の実績報告

開催月日	開催時間帯	参加者		スタッフ 外部講師	その他	合計人数	備考
		学習者	ボランティア				
3月19日（火）	18:30-20:00	20	2	2	3	27	行政職員3名

参加人数内訳

学習者（3か国：インドネシア、ミャンマー、ベトナム）20名、日本人（講師、ボランティア）7名

【授業内容】牛深を知ろう

①自己紹介

グループごとに名前、出身国、趣味について自己紹介をした。

②文法紹介

「あなたのおすすめの〇〇はなんですか。」「私のおすすめの〇〇は～です。」の文型を紹介し、使い方を説明。

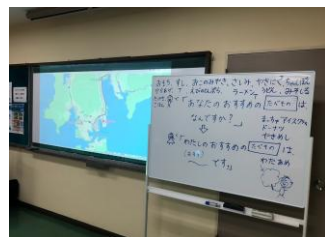
③文系に慣れる

先ほどの文型を使って、おすすめの食べ物について各自発表してもらった。

④牛深のおすすめの場所を紹介

先ほどの文型を使ってペアで牛深のおすすめの場所について紹介。

【授業の様子】



【所感】

牛深の日本語教室参加者は実習生などアジア出身者が多く、本渡地区での日本語教室とは参加者国籍が大きく異なる状況である。今回は牛深についてもっと知ってもらうために、「牛深について知ろう!」というテーマをもとに授業を進めた。「私のおすすめは〇〇です」というフレーズを学ぶことで、自分のお気に入りの場所を説明できるようになるのが目的であった。参加者は皆牛深に住んでおり、観光の名所だけでなくローカルな場所も紹介され、牛深についてより知ることができるいい機会になった。

【受託事業②】苓北町外国人相談・交流業務（苓北町役場企画政策課）

苓北町外国人交流イベントの実績報告及び参加人数集計表（参加のべ人数）

開催日	開催時間帯	参加者		スタッフ 外部講師	その他	合計人数	備考
		外国人	日本人ボランティア				
9月6日（金）	18:30-20:00	17	3	警察 3 講師 3	2	28	行政職員 2 名

参加人数 外国人（3 か国：ミャンマー、ベトナム、韓国）17名、日本人（講師、ボランティア、その他）11名

【イベント内容】交通ルールや犯罪について

①自己紹介

名前、好きな食べ物、日本で行ってみたい場所など

②交通ルールについて（警察の方がホワイトボードで説明）

自転車に乗ることが多い学習者のために自転車に関する交通ルールを説明(飲酒運転、運転中の携帯電話使用、傘差し運転は罰金)（左側走行など）

③犯罪について

銀行口座や在留カード、スマホの番号を売ることは犯罪にあたると説明。

④通報について

事故を見た時、巻き込まれた際の連絡先を説明。

【イベントの様子】



【所感】

参加者は実習生などアジア出身者が多かった。今回は日本で生活するにあたって必要な交通ルールを警察の方に説明してもらった。苓北町在住外国人の多くが自転車を使うことから、自転車に乗る際に気をつけなければならないルールを再確認するいい機会になったと思われる。また、知らぬ間に犯罪に巻き込まれないように、具体例を挙げ、警戒するように呼びかけた。自分が事故を見たり巻き込まれた際に、警察は110番、消防と救急は119番に通報する必要があることを改めて確認した。学習者の方が初めて警察の方と交流できて楽しそうだったのが印象的だった。

【受託事業②】苓北町外国人相談・交流業務（苓北町役場企画政策課）

苓北町外国人交流イベントの実績報告及び参加人数集計表（参加のべ人数）

開催日	開催時間帯	参加者		スタッフ 外部講師	その他	合計人数	備考
		外国人	日本人ボランティア				
10月25日 (金)	18:30-20:00	9	0	消防3 講師2	1	15	行政職員1名

参加人数 外国人（3か国：インド、ネパール、ベトナム）9名、
日本人（講師、ボランティア、その他）5名

【イベント内容】日本の消防について

①自己紹介

名前、好きな食べ物、日本で行ってみたい場所など

②消防車について（消防の方と一緒に消防車を見学）

消防車の仕組みや、実際の消火活動の流れを説明していただいた。

③救急車について（消防の方と一緒に救急車を見学）

救急車の中の器材や担架の使い方を説明していただいた。

④消火活動体験

実際に消火器を使って、的に当てる練習をした。

⑤心肺蘇生法

心臓マッサージのやり方や、AEDの使い方について学んだ。

⑥緊急通報訓練

実際に119通報を電話でかけてみた。日本語でやり取りする場合と3者間通訳を利用する場合を体験

【イベントの様子】



【所感】

今回の消防署でのイベントは参加者にとってとても興味深いものとなった。国によっては消防車を見たことがない方もいて、人生で初めての消防車にとても喜んでいて。心肺蘇生の授業は事故現場に遭遇した際の人命救助に大きく役に立つものとなった。AEDや消火器を実際手にしてみて使ってみるいい機会にもなった。また通報訓練では日本語で通報することの難しさや三者間通訳を利用する会話をしてみて思ったより難しかったとの感想が印象的だった。

【受託事業②】苓北町外国人相談・交流業務（苓北町役場企画政策課）

苓北町外国人交流イベントの実績報告及び参加人数集計表（参加のべ人数）

開催日	開催時間帯	参加者		スタッフ 外部講師	その他	合計人数	備考
		外国人	日本人ボランティア				
3月12日（水）	18:30-20:00	7	3	4	2	16	行政職員1名

参加人数 外国人（3か国：アメリカ、ミャンマー、ベトナム）7名、日本人（講師、ボランティア、その他）9名

【イベント内容】茶道について

①茶道で使う道具の説明

道具について先生から茶碗、棗、茶杓、茶筌、懐紙 etc. 説明していただいた。

②お茶を頂く際の作法

お茶を頂く前の声かけ「ご相伴いたします」「お先に」を練習した。

③お茶と和菓子

先生が点てたお茶を和菓子と一緒にいただいた。茶碗の回し方や、茶碗の眺め方について学んだ。

④お茶点て方

お茶を点てる体験は、先生からコツを教わりながら練習した。

【イベントの様子】



【所感】

今回は茶道の講師を招き、茶道体験会を行った。参加者のほぼ全員が茶道を初めて体験した。難しい普段聞き慣れない単語がたくさん出てきたこともあり、最初は緊張しているようにも見たが、最後は先生やボランティアの方にたくさん質問していて、とてもいい雰囲気だった。また、茶道の所作や使うお道具、掛け軸や茶碗の説明、声掛けの意味など、日本の茶道の奥深さにとても感心されたとの感想もあった。抹茶や桜餅はあまり口に合わないのではないかと心配していたが、みなさんとても気に入ったようで完食だった。お茶をいただくだけでなく、点てる体験もできとても喜ばれた。

【受託事業②】苓北町外国人相談・交流業務（苓北町役場企画政策課）

苓北町外国人交流イベントの実績報告及び参加人数集計表（参加のべ人数）

開催日	開催時間帯	参加者		スタッフ 外部講師	その他	合計人数	備考
		外国人	日本人ボランティア				
3月25日（火）	18:30-20:00	4	1	2	1	8	行政職員1名

参加人数 外国人（2か国：インドネシア、ベトナム）4名、日本人（講師、ボランティア、その他）4名

【イベント内容】 苓北町を知ろう

①自己紹介

グループごとに名前、出身国、仕事について自己紹介をした。

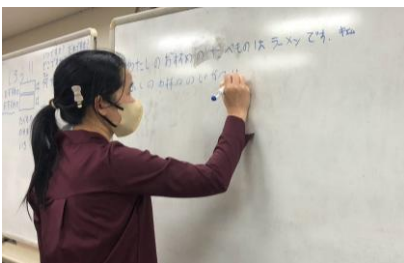
②文法紹介

「あなたのおすすめの〇〇はなんですか。」「私のおすすめの〇〇は～です。」の文型を紹介し、使い方を説明。

③苓北町のおすすめを紹介

先ほどの文型を使って、各自苓北町のおすすめのものや場所について作文し、ホワイトボードに書き

【イベントの様子】



【所感】

今回は苓北町についてもっと知ってもらおうというテーマをもとにイベントを進めた。「私のおすすめは〇〇です」の文法を使って、自分のお気に入りのものや場所を説明してもらったが、お互いに初めて聞く場所や食事どころ、観光地などで盛り上がった。近くにあっても行ったことのない場所や知らないことも多かったようで、イベントが終わったあとに、参加者同士がイベント内で聞いたお花見スポットに一緒に行く約束をする様子も見られ、同じ苓北町在住者同士で知り合い交流が続くことで、より苓北町で生活することに魅力を感じていただけるのではないかなと思う。

【受託事業③】天草市外国人雇用事業所、就業者ニーズ調査業務（天草市産業政策課）

【受託事業④】外国にルーツを持つ児童生徒に対する日本語指導業務（天草市学校教育課）

【受託事業⑤】苓北イングリッシュアクティビティデイ事業（苓北町教育委員会）

【受託事業⑥】ぐるっと周遊バスガイド（天草市観光振興課/カッセジャパン）

【受託事業⑦】地域観光新発見事業「台湾人等旅行者向け滞在型観光コンテンツ造成業務」（宇土市観光物産協会/カッセジャパン）

【受託事業⑧】サステナブルな観光コンテンツの高度化モデル事業
（天草サステナブルツーリズムガイドライン策定）（地域観光研究所）

【受託事業⑨】熊本県日本語指導コーディネート事業（熊本県学校教育、株式会社談）

【OMOTENASHI事業】

- ・天草総合ガイドブック英語翻訳（天草市観光振興課）
- ・キリシタン関連リーフレット3種 英語・中国簡体・台湾華語（天草市文化課）
- ・ポナンクルーズ関連事業 英仏翻訳 英語通訳/ガイド（天草宝島観光協会）
- ・天草イラストマップ英韓中翻訳（天草宝島観光協会）
- ・御所浦恐竜の島博物館館内表示英訳チェック（天草市文化課）
- ・熊本空港利用促進ファムツアー通訳ガイド（HIS）

その他

【補助金、助成金事業①】休眠預金活用事業

1事業概要

■事業名

外国人散在地域天草における外国ルーツ住民の社会参画支援

■実施主体

実行団体：ワールドフレンズ天草

資金分配団体：公益財団法人日本国際交流センター

■実施期間

2023年10月1日～2024年9月30日

■対象地域

熊本県 天草市・上天草市・苓北町

■目的

外国ルーツ住民が地域社会に参画し、自立した生活を送れるよう、就労・交流・言語支援の仕組みを整備する。

2事業の背景と社会課題

■地域の特徴と課題

約750名の外国ルーツ住民が地域に点在

島嶼部のため支援が届きづらく、孤立しやすい

雇用不安、DV被害、言語の壁、差別など複合的な課題

■行政支援の限界

相談窓口や日本語教室などの支援は限定的

DV被害者の避難先が100km圏外にしかない

長期的・構造的な支援体制が不足

■本事業の意義

地域課題に即した、持続可能な支援モデルを提示

公的支援の隙間を民間のイノベーションで補完

3主な事業内容(3本柱)

①就労支援

地域カフェを活用したOJT

→接客、メニュー開発、SNS広報などの実践機会

就労意識の向上、社会的つながりの強化

②交流・相談支援

日本人と外国人が交流するイベントやおしゃべり会

DV等の個別相談対応のためのスペースを整備

行政・専門機関との連携強化

③日本語教室の新規立ち上げ支援

支援空白地域(上天草市)のキーパーソンや事業者と連携

地域での教室立ち上げを支援し、行政の予算化を促す

4対象者・受益者とSDGsとの関連

■主な対象者

外国ルーツ住民とその家族

特に：
・安定した仕事に就けない人
・DV等の家庭内問題を抱える女性と子ども
・いじめや差別で孤立した人

■想定受益者数

外国ルーツ住民本人：75人

その家族：150人

地域住民：120人

■SDGsとの関連

目標1(貧困)・目標8(働きがい)・目標10(不平等)・目標11(住み続けられるまち)

→多文化共生・雇用促進・安全な避難環境整備・福祉アクセス改善を通じて貢献

5目指す成果と展望

■中長期アウトカム

外国ルーツ住民が自己決定のもと、地域で安心して暮らし、働き、支援にアクセスできる社会を実現

地域住民も含め、多様性を尊重し共に生きる基盤が整う

■将来的な展望

行政主導ではなく、地域主体の持続可能な多文化共生モデルを確立

本事業の成果を他地域へも展開可能なモデルケースとする

6 就労・社会参加支援の成果

■ カフェを拠点にした就労支援

就労体験参加者:スタッフ5名(うち4名が無職)、イベント運営13名、ボランティア19名
OJT(実地研修)支援を通じて、対象者が段階的に「仕事」に近づく

■ 資格・就職等の進展

資格取得:日本語検定4級(1名)、食品衛生責任者(1名)
就労成果:スタッフ5名中4名が就職・起業など次のステップへ進出

7 交流・居場所づくりと地域意識の変化

■ 交流イベントの開催と反応

開催回数:交流イベント6回(延べ264人)
外国人:日本人 = 約6:1(比率は想定と逆)
アンケート92件中、全員が「楽しかった・友達ができた」と回答

■ おしゃべり会による孤立支援

おしゃべり会:16回、延べ40名参加
引きこもりの外国人4名を対象に実施
→ 3回以上参加者は2名、「友達ができた」は3名

■ 地域住民の意識変化

「外国人が地域に多く住んでいると初めて知った」などの反応
カフェが「多文化を知る場」として定着しつつある

8 相談支援・緊急対応・日本語教育の現状

■ 相談支援と避難支援

DV・困難ケース対応:14名に対応、相談回数96回
1名が施設に宿泊、22名がレスパイト日帰り利用
連携先:10機関(うち7機関と具体的支援実施)

■ 日本語教室

外国人18名(韓国2、ミャンマー7、ベトナム9)、地域住民9名が参加
運営会議は1回実施

■ 地域協議会等の進捗

日本語教室運営体制・連絡協議会の設立は準備段階

9 短期アウトカムと想定外の波及効果

■ 参加者・住民の変化

DV被害者が親と話すなど行動変化
若者が「明日も来ます」と発言 → 継続的通所へ
外国人スタッフの働く姿を見て、企業や行政の関心が高まる

■ 成果の背景と意義

「カフェ」という常設の安心できる場所が支援と出会いを生む
支援対象者も、地域住民も「ふらっと立ち寄れる」ことで対話が自然に生まれる

■ 想定外の成果

当初想定は就労支援中心だったが、地域住民が「外国人と出会いたい」「文化に触れたい」と求める場に
→ 地域の多文化共生の拠点として重要性が浮上

【補助金、助成金事業②】天草市市民活動支援事業補助金（ジャンプアップ事業）

事業名：外国ルーツ住民を含むDV被害女性及び母子一時保護施設整備事業

実施期間：令和 7年 1月 1日 ～ 令和 7年 3月 15日

実施した事業内容

DV被害女性や母子に、緊急避難が必要となった際、一時保護が可能なシェルターを天草市内に整備し、緊急時に協力し合える連携先を市を超えて構築した。またDV被害者に対応する人材のカウンセリングスキルの向上を図った。具体的には、大きく3つの要素で事業を構成した。

1. 相談交流会の実施

1回目 日時 2月26日（水） 午後2時半～4時

会場：クロスロードカフェ 参加者：6名

2回目 日時 3月7日（金） 午後2時半～4時

会場：クロスロードカフェ 参加者：7名

気軽に悩みや相談を言える雰囲気の中ので交流会を実施した。講師には外部の相談員（倉本剛史先生）を招聘し、会の後半には時間をとりわけ相談員と個別にも話ができるようなスケジュールの組み立てとした。また、当団体2名も同席し、スキルアップ研修を併せて実施した。

2. シェルターの整備（ソフト）連携先構築と人材育成

団体のシェルターで受け入れるのは難しい危険度の高いケースなどの対応のために、関連する事業所（女性相談センター・児童相談所、県警、市の担当課等）と信頼関係を構築した。

これまで、10年以上相談対応を実施してきたメンバーがカウンセリングスキルを向上させるため、各自の学びに加え、面接手法に特化した「動機づけ面接」講座を受けた。

3. シェルターの整備（ハード）

現在ある団体が管理する施設に宿泊や休憩のためのベッドを購入設置。センサーで点灯する外灯や後付けできる鍵の設置を進め施設の安全性を高めることができた。

事業実績書

■達成状況（申請時に設定した目標に対しどの程度達成できたか）

①相談交流会の実施

2月、3月（計2回）に相談交流会を実施。相談員には外部講師を招聘し開催。講師はNPO法人つなぐ代表理事兼在宅とつながるクリニック院長である倉本剛史氏。当団体の相談員は同席してスキルアップ研修も兼ねる。

【目標と達成状況】

◆相談に来れる場所として認知が広まる。

◆参加者10人目標 ⇒ 1回目：6名、2回目：7名参加

②シェルターの整備（ソフト）

・連携協力先の構築 ・人材育成

【目標と達成状況】

◆シェルターについてのチラシを200枚（10か所×20枚）配布設置してもらう。⇒作成、設置中。

◆8か所訪問し、協力関係を構築⇒連携できた所19か所

◆カウンセリングスキル向上のため研修を受講する

⇒実施済

講師：倉本剛史氏（NPO法人つなぐ代表理事兼在宅とつながるクリニック院長）

内容：相談対応に必要なカウンセリングスキルとして「共感と是認」を学ぶ

共感と是認を意識しながらワークショップ

③シェルターの整備（ハード）

令和6年度収支決算書

(収入の部)

(単位：円)

項目	決算額	摘要
繰越金	2,377,413	
委託料	5,913,450	
OMOTENASHI事業	8,062,564	
語学支援（英中韓日）	354,800	
補助金、助成金	360,000	
寄付	150,000	
カフェ（通常営業、イベント）	2,974,904	
雑収入	989,940	
源泉徴収	80,601	
利息	169	
合計	21,263,841	

(支出の部)

(単位：円)

項目	決算額	摘要
人件費	9,199,573	
報償費	3,664,672	
食材費	692,801	
消耗品費	343,060	
研修費	159,220	
水道光熱費	223,149	
旅費交通費	201,604	
印刷費	15	
通信費	212,723	携帯代金、インターネット代、公式LINE、切手
支払手数料	25,990	
源泉徴収	80,601	
施設設備費	3,889,025	地代家賃、設備費、施設整備費
福利厚生費	220,768	
租税公課	3,800	
雑費	122,230	諸会費、交際費
合計	19,039,231	

(収入合計) 21,263,841－(支出合計) 19,039,231＝(翌年度へ繰越) 2,224,610

令和7年6月2日 上記の通り相違いないことを証明します。

監事 松崎 慶子



ワールドフレンズ天草特別会計収支決算書

期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

【収入】	令和6年度	本事業全体
前年度繰越	8,958,871	
助成額	1,157,221	15332882
自己資金	2,462,450	3915920
合計	12,578,542	19248802

【支出】	令和6年度	本事業全体
評価関連経費	0	258,000
管理的経費	1,164,385	2,279,907
直接事業費	外注工賃	2,777,297
	カフェ運営費	6,948,869
	レスパイト運営費	22,639
	給与	2,799,932
	旅費交通費	305,929
	備品費	72,590
	保険料	40,977
	諸経費	41,565
合計	8,877,445	15,547,705

令和6年度 (収入) 12,578,542 -(支出) 8,877,445 = (残金) 3,701,097

本事業全体 (収入) 19,248,802 -(支出) 15,547,705 = (残金) 3,701,097

令和7年度 事業計画

【自主事業①】外国人支援(CSR社会貢献活動として無償対応)

【自主事業②】異文化紹介(CSR社会貢献活動として無償対応)

		場所	概要
1	北小異文化交流クラブ	本渡北小学校	年間5回、北小学校4～6年生のクラブ児童に向けて世界の文化や習慣を紹介予定。
2	つんのでフェスタ	天草市	人権をテーマとしたイベントの実行委員として携わる。在住外国人スピーチを実施予定。

【自主事業③】識者専門家会議、研修(CSR社会貢献活動として無償対応)

		場所	概要
1	熊本・外国ルーツの子ども支援連絡協議会研修会	熊本市 国際交流会館	外国ルーツの子どもの受け入れに関する対応や問題解決に導くための専門的な知識を獲得するとともに現状や課題の共有をする。
2	外国ルーツの子ども支援ネットくまもと研修会	zoom	外国ルーツの子どもに対する学校での取り出し日本語指導に関する学習。
3	医療通訳スキルアップ研修	zoom	オンラインで医療通訳を行う方法についての研修と、通訳についての学習。
4	災害時外国人支援多言語サポーター研修	熊本市 国際交流会館	外国人対象の防災訓練への参加と災害時の外国人支援のあり方について学習。

【自主事業④】OMOTENASHI事業

- ◆翻訳(英語、中国語、韓国語、やさしい日本語)
- ◆通訳、外国語ガイド
- ◆講師

【受託事業①】多文化共生支援事業(天草市総合政策部政策企画課)

- ・外国人総合相談窓口
- ・外国人のための日本語教室、日本人対象やさしい日本語研修

【受託事業②】苓北町外国人相談・交流業務(苓北町役場企画政策課)

- ・苓北町電話相談
- ・外国人のための日本語イベント4回

【受託事業③】ぐるっと周遊バスガイド(天草市観光振興課/カッセジャパン)

ぐるっと周遊バスにて週1回のガイド業務

令和 6 年度収支決算書

(収入の部)

(単位：円)

項目	決算額	摘要
繰越金	5,925,707	本体会計と特別会計を合算
委託料	5,300,000	
OMOTENASHI事業	6,000,000	
語学支援（英中韓日）	300,000	
補助金、助成金	300,000	
寄付	100,000	
カフェ（通常営業、イベント）	3,000,000	
雑収入	500,000	
源泉徴収	70,000	
利息	200	
合計	21,495,907	

(支出の部)

(単位：円)

項目	決算額	摘要
人件費	8,000,000	
報償費	3,200,000	
食材費	700,000	
消耗品費	300,000	
研修費	150,000	
水道光熱費	250,000	
旅費交通費	200,000	
印刷費	5,000	
通信費	250,000	携帯代金、インターネット代、公式LINE、切手
支払手数料	30,000	
源泉徴収	90,000	
施設設備費	2,000,000	地代家賃、設備費、施設整備費
福利厚生費	200,000	
租税公課	5,000	
雑費	150,000	諸会費、交際費
合計	15,530,000	

(収入合計) 21,495,907－(支出合計) 15,530,000＝(翌年度へ繰越) 5,965,907

令和7年度 ワールドフレンズ天草 理事会

番 号	役職名	氏 名	担 当 事 業	区 別
1	会 長	俣野 智子	代表理事	再 任
2	副会長	野崎 知美	通訳・翻訳、日本語教室	再 任
3	副会長	本村 彩	カフェ、国際交流	新 任
4	会 計	田口 珠代	相談窓口、日本語教室	新 任
5	理 事	任 春艶	相談役	再 任
6	理 事	緒方 拓郎	相談役	再 任
7	監 事	松崎 慶子	監査	新 任